

学校運営協議会だより

令和7年1月20日発行 第2号

令和6年10月23日(水)、第2回学校運営協議会(コミュニティー・スクール)を紋別養護学校ひまわり学園分校で行われました。昨年度に引き続き、北海道紋別養護学校、北海道紋別養護学校ひまわり学園分校、北海道紋別高等養護学校の特別支援学校3校が所在する遠紋地域から出席されました。

【協議のポイント】(1)地域や学校の行事・イベント等について共有した情報をもとに、地域の行事等への学校の参加・協力(又は学校の教育活動への地域の方の参加・協力)について協議し、実際に動き始める。(2)実際に動き始めるに当たり、キーマンとなる地域の人材を明確にし、具体的なスケジュールを決める。(3)商工会議所と学校が生徒の卒業後の状況について情報を共有し、今後の具体的な取組を決める。(4)地域の方と教職員とのつながりをさらに広げ、深める。(5)学校と地域の連携の中で、PTAをどのように巻き込んでいくか。(6)報道機関等と連携し、学校の取組を地域に発信する。

テーマ及び要旨 「今後の取組や連携の具体的推進について」

【紋別高等養護学校グループ】

紋育バンクの人材活用や人材の確保の仕方について

- ～登録人数が100人に満たないが、登録がなくてもどのような人材が必要か伝えてほしい。教科書に沿った人材を集めているが、何をしたいかが明確になると人材も集めやす。
- ～やはりどんなことができる人、何を知りたいのかを明確にしていく。
- ～企業や一般の人から手を上げるのは難しいので、何が必要かを明確にして手を上げてもらう。
- ～不動産関係にも配布されるなど広く情報を提供していただけた。今後も是非お願いしたい。
- ～市の公式LINEがあるので、今後学校の何か発信するために利用可能だと思う。企画調整課調整係に問い合わせるとよい。
- ～市の広報も活用するのも問題ない。学校をいかにもり立てるのかも市民に必要なことだと思っている。
- ～地元紙を活用したらよい、終わってからの記事はよく載るが、いつから始まるかをのせてもらうと好い。市の広報は月一だが地元紙は毎日載る。
- ～「できる人ができることをできるときに」PTAの活動(ボランティア)を広めていきたい。
- ～PTAそのものの考えていかないといけない時期なのか？
- ～実際にPTAが機能しなくなった学校もあったが、PTAがなくなることで様々な支障が出ている。

【紋別養護学校・ひまわり学園分校グループ】

色々なことをするには、先生達のスピードが大事。

地域の企業の団体とつながるキーマンが色々なところとつなぐ。

遠軽でも青年部や商工会議所とつながることは出来ないか？

遠軽では青年会議所が加わって、イベントを行っている。つながるきっかけがあればつながっていける。

学校から働きかけて困っていたら、投げかけることが大事。遠軽の商工会議所などに声を掛けてもよい。

遠軽でも広報誌を配れる。回覧板に入れて、地域の小中学校は学校便りを配付している、発信が大事。

地元新聞やオホーツク欄にもどんどんアピールしていく。情報発信することが大切